

授業評価 2015 (前期) T1N: 工学部建築学科

syll mkjhytex.pl Ver 2.79(2015-09-11) by Yas

2015 年度前期 工学部建築学科 授業評価 目次

授業コード	授業科目名	開講時限等	担当教員	ページ
T1N003001	建築の構造	1 年前期金曜 2,3 限 1 期	和泉 信之	T1N 1
T1N012001	建築設計学	2 年前期火曜 2 限	鈴木 弘樹	T1N 2
T1N032001	建築設備計画 I	3 年前期月曜 3 限	川瀬 貴晴	T1N 3
T1N062001	先端建築環境論	4 年前期月曜 6 限	林 立也	T1N 4
T1N069001	建築振動論	4 年前期水曜 2 限	中村 友紀子	T1N 5

授業科目名	: 建築の構造
担当教員	: 和泉 信之
年次・開講時限	: 1 年前期金曜 2,3 限 1 期
授業コード	: T1N003001
授業アンケート	: 回答者数 55 人 / 受講者数 80 人 (回収率 69%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 55 件)

教室備え付けのプロジェクトではなく、建築学科のプロジェクトを使用しているため、スライドの見やすさ (平均 4.25) は向上しているようですが、更に工夫していききたいと思います。

Q7. 教室の環境は満足できるものですか? (回答 54 件)

教室の環境は平均 3.83 です。温熱・空気環境の改善を求めていききたいと思います。

Q30. この授業で改善すべき点について記入してください。 (回答 7 件)

スライドの操作が速くならないように操作速度について留意していききたいと思います。また、建築の基本的な用語の説明についても更に留意していきます。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

授業の理解度は 4.07、満足度は 4.26 であり、多くの受講者が概ね授業内容を理解することができ、良好な評価が得られたと思います。また、教材の効果は 4.11、例題のわかりやすさは 4.27、レポートの役割は 4.38 であり、講義要点ノート、小レポートなどが受講者の理解に役立ったと考えられます。スライドの見やすさは 4.25、教員の声は 4.44 であり、ほぼ全てのスライドを見て説明を聴くことができたと思われ。今後とも、受講者が授業内容を理解できるように、更に改善していきます。

### 3. その他のコメントや連絡事項

通常の質問対応のほかに「質問シート」を配布して、授業の進捗に応じて質問を受けつけて、適宜授業中に回答する方式を実施しました。質問がしやすいなど好評でしたので、今後も回答のタイミングや時間を工夫して実施していききたいと思います。

作成(者): 和泉信之

授業科目名	: 建築設計学
担当教員	: 鈴木 弘樹
年次・開講時限	: 2 年前期火曜 2 限
授業コード	: T1N012001
授業アンケート	: 回答者数 30 人 / 受講者数 71 人 (回収率 42%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q1. この講義のシラバスについて、該当するものを全て選択して下さい。(回答 28 件)

内容が分かりやすかったが 71.4%で、見なかったが 21.4%であった。概ね内容は良く、見なかった学生が多かったのは残念であった。

Q2. 教材は授業の理解に役立ちましたか？(回答 28 件)

「いいえ」、「そうではないという」回答が 0%であった。さらに工夫したい。

Q5. 板書、OHP、スライドなどは、見やすかったですか？(回答 27 件)

今年は「はい」が 100%であった。来年度に向けさらに工夫したい。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

授業の内容は、概ね学業の習得、達成上問題は少なかったようだが、さらに来年度に向け工夫したい。

3. その他のコメントや連絡事項

遅刻が多かった。授業を妨げる会話があったのは残念だった。

作成(者): 鈴木弘樹

授業科目名	: 建築設備計画 I
担当教員	: 川瀬 貴晴
年次・開講時限	: 3 年前期月曜 3 限
授業コード	: T1N032001
授業アンケート	: 回答者数 26 人 / 受講者数 85 人 (回収率 31%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q6. Q5 の評価が「はい」でない場合、その原因に該当するもの全て選択して下さい。(回答 9 件)

基本的に板書はしないので教科書の指摘箇所を注意してみることに。

Q8. Q7 の評価が「はい」でない場合、その原因に該当するもの全て選択して下さい。(回答 12 件)

空気環境の悪さは実測によっても確認されている。改善が必要と考えている。

Q13. あなたは毎回の授業の準備学習・復習に平均してどの程度の時間をかけましたか?(回答 25 件)

予習復習を行うことでこの授業の理解度は格段に上がるはずと考えている。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

建築において建築設備の役割は益々大きくなることが予想される。

この授業は建築設備の初歩であるが最新の建築設備を知る上でもしっかり理解しておきたい。

3. その他のコメントや連絡事項

できるだけ最先端の建築を見ること。またそのときに、普段見る機会はあまり無いと思うが、建築の表面だけでなくその機能を担っている設備機器等についても見せてもらえると良い。教科書に書かれた内容が頭に入りやすくなると思う。

作成(者): 川瀬貴晴

授業科目名	: 先端建築環境論
担当教員	: 林立也
年次・開講時限	: 4 年前期月曜 6 限
授業コード	: T1N062001
授業アンケート	: 回答者数 32 人 / 受講者数 85 人 (回収率 38%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q1. この講義のシラバスについて、該当するものを全て選択して下さい。(回答 32 件)

先端建築環境論という、テーマが自由な講義において、学生の希望をシラバスに含めて構成を検討したため、よい評価が多かったかと考えられる。

Q11. 授業内容の量を考慮すると、進度は適切でしたか？(回答 32 件)

興味のない学生にはつめこみ過ぎなきらいもあったが、概ね量のバランスは適切であったと思う。

Q14. あなたはこの授業で質問をしましたか？(回答 32 件)

やや一方的に話過ぎ、質問が出ることはほとんどなかったが、80名の必修授業では講義形式にならざる得ない部分もある。今後は応答式の展開についても検討したい。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

建築の環境に関する情勢は日進月歩で変化している。単なる物理学の世界を超え、社会の中で環境配慮をどのように推進するか、社会的な背景や消費者行動も含めて考える必要があるため、社会に出る前の4年生にとっては、時節を得た内容であると考えられる。その点で、興味を持って聞いていただけたのではないかと考えている。

### 3. その他のコメントや連絡事項

特にありません。

作成(者): 林立也

授業科目名	: 建築振動論
担当教員	: 中村 友紀子
年次・開講時限	: 4 年前期水曜 2 限
授業コード	: T1N069001
授業アンケート	: 回答者数 3 人 / 受講者数 17 人 (回収率 18%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q4. Q3 の評価が「はい」でない場合、その原因に該当するもの全て選択して下さい。(回答 1 件)  
改善に努めます。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

2 次方程式～線形常微分方程式まで、既知と思っていた事が未学習もしくは完全に忘れていた状態であることが多く、その点フォローしきれませんでした。

3. その他のコメントや連絡事項

教員削減などにより開講科目の見直しに伴い、次年度から併せて開講していた振動論演習がなくなる。それに対する対応を思案中。

作成(者): 中村